

PRE-STATION Ai の成果について

1 PRE-STATION Ai について

(1) これまでの経緯

愛知県は、スタートアップの総合支援を行うことを目的として、2020年1月にスタートアップ支援拠点「STATION Ai 早期支援拠点」を開設しました。その後、2020年6月には、早期支援拠点内にスタートアップの総合支援窓口として「あいちスタートアップワンストップセンター」を設置するとともに、スタートアップ支援に関する専門的な知見を持つ「統括マネージャー」を配置し、スタートアップの起業や事業会社との協業に向けた支援、相談体制の強化を図ってきました。

2021年度は、2024年10月開設予定の「STATION Ai」の主要機能を概ね備えるために早期支援拠点に新たな機能を充実し、4月1日から新たに「PRE-STATION Ai」として開設しました。「PRE-STATION Ai」には3名の「統括マネージャー」を配置し、入居スタートアップに対する定期的なメンタリング支援のほか、短期間で急成長を支援するインキュベーションプログラムの実施や、起業成功者や士業等の専門家を招いた勉強会を開催し、スタートアップを総合的に支援してきました。

2022年度からは、「STATION Ai」の整備・運営を担う STATION Ai 株式会社が、「PRE-STATION Ai」の運営を開始するとともに、施設規模の大幅な拡張、STATION Ai がモデルとするフランスの STATION F の知見を取り入れたプログラム等の実施、スタートアップの資金調達支援等を行うための「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」の設立や、オンライン支援を行う枠として新たに「Remoteメンバー」制度を導入するなど、2024年度の「STATION Ai」のオープンに向けて本格的に始動しています。

時 期	内 容
2020年1月16日	・「STATION Ai 早期支援拠点」を開設
2020年6月22日 ～2021年3月31日	・早期支援拠点内に「あいちスタートアップワンストップセンター」を設置 ・「統括マネージャー」を配置（事業受託： ^{クルー} Creww株式会社） 【入居者数】35社（2021年3月） 【相談業務の実施】50件 【インキュベーションプログラムの実施】参加者8社

時 期	内 容
2021年4月1日 ～2022年3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・早期支援拠点を新たに「PRE-STATION Ai」として開設 ・「統括マネージャー」を配置（事業受託：パーソルイノベーション株式会社） <p>【入居者数】48社（2022年3月）</p> <p>【相談業務の実施】354件</p> <p>【インキュベーションプログラムの実施】参加者（前期9社、後期16社）</p>
2022年4月1日 ～2023年3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」の設立 ・新たに「Remoteメンバー」制度を導入 ・「統括マネージャー」、「コミュニティマネージャー」を配置（事業受託：STATION Ai株式会社） <p>【メンバー数】93社（Standardメンバー：44社、Remoteメンバー49社）（2022年7月）</p> <p>【相談業務の実施】</p> <p>【短期集中型プログラムの実施】</p> <p>（前期）</p> <p>インキュベーションプログラム：16社</p> <p>アクセラレーションプログラム：8社</p> <p>（後期）</p> <p>インキュベーションプログラム：12社（予定）</p> <p>アクセラレーションプログラム：12社（予定）</p>

（2）2021年度の事業概要

STATION Ai 開業に先駆けて、We Work グローバルゲート名古屋内に設置したPRE-STATION Aiにおいて、統括マネージャーを配置するとともに、起業や事業会社との協業に向けた支援等、スタートアップ関連事業を集中的に展開。

①【相談・支援業務の実施】

スタートアップ（企業内の新規事業等も含む）、行政・支援機関、企業等の相談を実施。スタートアップの相談には、起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務相談、知的財産施策等を含む。

②【インキュベーションプログラムの実施】

PRE-STATION Ai の入居者を対象とした、スタートアップの成長を集中的に支援する約5ヶ月間のプログラム。M T G ベンチャーズ（※）^{エムティージー}の藤田氏、伊藤氏をメインメンターとして月1回のメンタリングを実施するとともに、事業計画策定やマーケティング等の様々な領域のプロフェッショナルのアドバイスを受けられるメンタリングデーを実施。また、将来的にパートナーとなりうる事業

会社や投資家を観客として招き、スタートアップがピッチをする Demo Day を開催。

※ MTG ベンチャーズ（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：松下剛）

主にヘルスケア領域へのスタートアップに対して投資を行うベンチャーキャピタル。

③【勉強会やPRイベント等の実施】

起業成功者や士業等の専門家を講師とした勉強会を週1回のペースで実施し、スタートアップに起業等に関する知見を提供。また、多くのスタートアップや県内企業等に PRE-STATION Ai でのスタートアップ支援等の様々なプログラムを活用していただくために、PR イベントを実施。



インキュベーションプログラム

Demo Day の様子（2021年10月28日）



PR イベント「Aichi Startup Day2021」

（2021年9月18日）

（3）2022年度事業について

「STATION Ai」の整備・運営を担う STATION Ai 株式会社が、「PRE-STATION Ai」の運営を開始するとともに、施設規模の大幅な拡張、STATION Ai がモデルとするフランスの STATION F の知見を取り入れたプログラム等の実施、スタートアップの資金調達支援等を行うための「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」の設立、オンライン支援を行う枠として新たに「Remote メンバー」制度を導入。相談・支援業務、短期集中型プログラム（前期、後期）（※）については、継続して実施。

※ 2021年度は「インキュベーションプログラム」の名称で実施。

【相談・支援業務】

内 容	対象者	実施頻度	実施期間
各種相談（起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務相談、知的財産施策等）	スタートアップ、行政・支援機関、企業等	随 時	通 年

【STATION F の知見を取り入れたプログラム等の実施】

内 容	対象者	実施頻度	実施期間
ファウンダーズプログラム (メンバー支援のための基本プログラムとして、定例メンタリング等を実施)	PRE-STATION Ai メンバー	随 時	通 年
ギルド (メンバー同士が支援し合うコミュニティの運営)	PRE-STATION Ai メンバー	随 時	通 年

【短期集中型プログラム（前期）】

内 容	対象者	募集時期	実施期間
① メンタリング ② マンスリーピッチ ③ Demo Day	インキュベーションプログラム：16社 アクセラレーションプログラム：8社	6月に参加スタートアップを募集（2022年6月1日記者発表済み）、10月に Demo Day を公開実施予定。	7月～10月

- ・短期集中支援業務（後期）については、2022年12月に実施し、2023年3月末に Demo Day を開催する予定。

2 AICHI STARTUP BRIDGE について

(1) これまでの経緯



愛知県では、本県と首都圏を中心とする VC とのネットワークを構築し、スタートアップに対して資金調達機会を提供するとともに、スタートアップの資金調達に関する知識の向上等を図るプログラムである「AICHI STARTUP BRIDGE」事業を2021年度から実施しています。

2021年度は、VC と本県のネットワーク構築のため「Aichi Partner VC」を13社認定し、当地域のスタートアップの資金調達機会の創出を目的として、「Aichi Partner VC」とスタートアップをミートアップするイベントを実施しました。また、スタートアップの資金調達に関する理解度の向上に向けた勉強会や、当地域の事業会社のスタートアップ投資の機運醸成に向けた勉強会を開催しました。

2022年度からは、VC とのネットワークの更なる拡大を図るため、新たに2社を「Aichi Partner VC」として追加認定し、引き続き、当地域のスタートアップの資金調達の円滑化を支援していきます。

時 期	内 容
2021年8月	「Aichi Partner VC」を13社認定
2021年8月～	2021年度事業の実施（～2022年3月） 【Aichi Partner VCとスタートアップのミートアップイベントの実施】参加スタートアップ延べ24社 【スタートアップ向け勉強会の開催】参加者51名 【事業会社向け勉強会の開催】参加企業数15社
2022年6月	「Aichi Partner VC」を2社追加認定
2022年6月～ （現在実施中）	2022年度事業の実施（～2023年3月） 【Aichi Partner VCとスタートアップのミートアップイベントの実施】（第一回：6月24日実施済み、第二回～第四回：今後実施予定） 【スタートアップ向け勉強会の開催】（予定） 【事業会社向け勉強会の開催】（予定）



Aichi Partner VCとスタートアップのミートアップイベントの様子（2021年3月9日）

① VCの前で参加スタートアップがピッチ

② 個別ブースを設け、各VCからアドバイスを受けながら、ネットワーキングを実施

（2）2021年度事業概要

① 【Aichi Partner VCとスタートアップのミートアップイベントの実施】

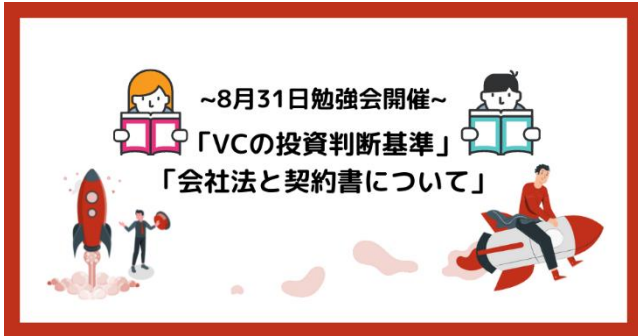
Aichi Partner VCと当地域のスタートアップが個別に面談する機会を定期的に設け、当地域のスタートアップの資金調達機会を創出するミートアップイベントを、年4回実施。

② 【スタートアップ向け勉強会の開催】

スタートアップの資金調達の理解度を向上させるため、スタートアップ向けの資金調達に関する勉強会を開催。

③ 【事業会社向け勉強会の開催】

事業会社と VC がコミュニケーションを形成する機会を提供し、事業会社のスタートアップ投資の機運を醸成させるため、事業会社向けのスタートアップ投資の勉強会を開催。



スタートアップ向け勉強会の開催
(2021年8月31日)



事業会社向け勉強会の様子
(2021年12月10日)

(3) 2022年度事業について

今年6月に、Aichi Partner VCとして新たに2社を認定(2022年6月17日記者発表済み。)。今後は15社とのネットワークを活用し、当地域のスタートアップに対して資金調達機会の提供等を、継続して実施。

内容	対象者	募集時期	実施時期
Aichi Partner VC とスタートアップのミートアップイベントの実施	スタートアップ	5月、8月、11月、2023年2月	6月、9月、12月、2023年3月
スタートアップ向け勉強会の実施	スタートアップ	7月	8月
事業会社向け勉強会の実施	事業会社	2023年1月	2023年2月

3 STATION Ai パートナー拠点事業について

(1) これまでの経緯

「Aichi-Startup 戦略」では、愛知県全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を目指し、県内各地域に STATION Ai と連携する「STATION Ai パートナー拠点」の設立を促進することとしています。

東三河地域では、従来から民間企業や第三セクターが設置した複数のスタートアップ支援拠点があり、それらの中核とした産学官の連携体制構築の動きがありました。そこで、2021年度、県においてスタートアップ支援の知見を有する統括マネージャーを配置し、関係者のニーズ調査やコミュニティ形成など体制構築に

向けた支援を行い、東三河を中心とした地域におけるスタートアップ・エコシステム形成に向けた支援を実施しました。

また、同年10月には、東三河地域において、主体的にスタートアップ支援に取り組む企業、大学、行政機関等で構成する「東三河スタートアップ推進協議会」が設立され、県と相互の連携・協力に関する覚書を締結して本県初の STATION Ai パートナー拠点として位置づけました。

2022年度からは、積極的にスタートアップ支援に取り組む県内各地域を支援するエコシステム形成支援統括マネージャーを新たに配置し、東三河地域での取組をモデルケースとして、各地域の自律的なスタートアップ・エコシステムの形成を促進します。

(2) 2021年度事業概要

・統括マネージャー設置事業

東三河地域に統括マネージャー1名を配置し、東三河の支援機関等との連携の上、東三河を中心とした地域におけるスタートアップの総合的支援を実施。

①【相談業務の実施】

スタートアップ（企業内の新規事業等も含む）、行政機関、企業等の相談を実施。スタートアップの相談には、起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務相談、知的財産施策等を含む。

②【インキュベーションプログラムの実施】

東三河地域のスタートアップやスタートアップとして起業を予定する者を対象とした、地域の支援機関等と連携したスタートアップのハンズオン支援プログラム。プログラム開始時に参加者に応じた月単位の目標とゴールを設定した上で、メンタリングを実施。また、メンター、スタートアップ、県内企業等の参加者に対して、事業内容やプレゼンテーションのブラッシュアップを兼ねた月1回のピッチ（マンスリーピッチ）を実施。プログラム最終日には、成果発表の場として Demo Day を開催。

③【研修会、交流会等の実施】

東三河地域のスタートアップ、企業、支援機関等を対象とした研修会や交流会等のイベントを実施。

④【市場調査の実施】

東三河地域のスタートアップ及び企業（イノベーション創出に取り組む）等に対して、ヒアリング等により取組内容や課題等の情報収集を実施。

・東三河サテライト支援拠点オープニング事業

東三河地域の STATION Ai パートナー拠点の設立の際に、オープニング事業として、スタートアップ機運の醸成につながるイベントを実施。

(3) 2022 年度事業について

東三河地域に継続して統括マネージャーを配置。さらに、積極的にスタートアップ支援に取り組む県内各地域を支援するエコシステム形成支援統括マネージャーを新たに配置し、各地域における特性や強みを活かしたスタートアップ支援の取組の具体化を後押し。

【アドバイザー業務】

内 容	対象地域	実施期間
東三河スタートアップ推進協議会において実施する支援施策やコミュニティ活動に対する助言等	東三河	通 年
各地域が実施する地域の実情把握を目的とした調査や支援施策の検討にあたっての助言等	その他の地域	

【インキュベーションプログラム】（詳細が決まり次第、別途発表）

内 容	対象地域	実施期間
県内各地域のスタートアップを対象とした、メンタリングやピッチの練習会等を通じたハンズオン支援プログラム	県内全域	11月～3月 (予定)

【コミュニティ形成支援・交流会】

内 容	対象地域	実施期間
スタートアップ、起業家、支援機関等が交流することのできるイベント	県内全域	随時

4 これまでの成果

(1) 支援概要

本事業により、以下のような成果が創出されました。

項目	2021 年度 実績
① PRE-STATION Ai	
1. 県内企業との協業（事業連携）	8 件
2. 資金調達	11 件
3. 製品開発（試作品含む）	6 件
4. 起業（うち個人事業主）	12 件（2 件）
5. 人材採用	3 件

② AICHI STARTUP BRIDGE	
1. Aichi Partner VC とスタートアップのミートアップ機会	150 回
2. Aichi Partner VC とのミートアップ後の個別面談機会	21 回
3. Aichi Partner VC からの資金調達件数	2 件
③ STATION Ai パートナー拠点事業	
1. PRE-STATION Ai との連携 (Remote メンバー)	2 件
2. 統括マネージャーによる相談対応	484 件
3. 東三河起業家コミュニティ (Facebook) への参加者数	800 名以上

(2) 具体的な成果事例

(1) の支援概要について、特筆すべき内容をピックアップして掲載します。

○ ①PRE-STATION Ai 及び②AICHI STARTUP BRIDGE に関する成果

- 産業用ロボット導入プラットフォームを開発し、ロボット導入のハードルを下げ営業プロセスの改善を行う株式会社ファースト・オートメーションが、2021年7月に導入時のプロジェクト管理ツール「ROGEAR」のβ版をリリースし、10月にはAichi Partner VCのX Tech Ventures等からプレシリーズAラウンドの資金調達(1億円)を達成。
- 「製造工場の常識を変える。」をミッションに掲げ、製造工場の生産計画立案から行動計画までをサポートするSaaS「monit」を展開するトランスミット株式会社が、2021年10月に、Aichi Partner VCのKUSABI等からプレシリーズAラウンドの資金調達(1億2,400万円)を達成。
- 環境に配慮した人工土壌「高機能ソイル」を活用した次世代の作物栽培システム「宙農」を開発・販売する名古屋大学発スタートアップの株式会社TOWINGが、2021年12月に、プレシリーズAラウンドの資金調達(1億4,400万円)を達成し、刈谷市に借りた農地を栽培拠点として実証実験中。

○ ③STATION Ai パートナー拠点事業に関する成果

- 東三河地域のコミュニティから支援を受けているスタートアップである合同会社OptTech及び株式会社スペースが、2022年4月から新たにPRE-STATION AiのRemoteメンバーとして参画。
- 統括マネージャーが名古屋大学発ベンチャーであるグランドグリーン株式会社の実証実験農場のマッチングを支援し、豊橋市の支援を経て、2021年12月に豊橋市内にて研究農場のパートナー契約を締結、地域外のスタートアップの豊橋市への呼び込みに成功。